

平成29年度 3R活動推進フォーラム事業報告

I 組織運営

1. 理事会・総会

理事会・総会を平成29年5月22日(月)に法曹会館(東京都千代田区霞が関1-1-1)で開催し、①平成28年度事業報告及び収支決算、②平成29年度事業計画及び収支予算について議決をいただいた。

2. 企画・運営委員会

平成29年度企画・運営委員会を平成30年3月23日(金)に公益財団法人廃棄物・3R研究財団(東京都墨田区両国3-25-5 J E I 両国ビル8階)で開催し、①平成29年度事業報告(案)②平成30年度事業計画(案)等について御意見をいただいた。

II 会員の強化・拡充

1. 取組

①平成29年6月26日(月)の環境省主催の全国廃棄物・リサイクル行政主管課長会議資料に3R活動推進フォーラムの紹介及び入会案内を掲載していただいた。

②政令指定都市の未入会団体等には、入会案内を送付するなど広報活動に努めるとともに、機会があるごとに市を訪問するなどして入会をお願いした。

2. 入会状況

平成29年度は、新たに1団体が入会し、会員は138団体(平成30年4月1日現在)となった。新たに入会したのは、昭島市である。

III 3R推進全国大会関連事業

1. 第12回3R推進全国大会の開催

「第12回3R推進全国大会(以下、「3R推進全国大会」という。)」を平成29年10月24日(火)13時~16時50分に環境省、九州地方環境事務所、沖縄県と共に、沖縄コンベンションセンターで開催した。なお、運営は公益財団法人廃棄物・3R研究財団と株式会社ダイナックス都市環境研究所が行った。

(1) 第12回3R推進全国大会

□開催日：平成29年10月24日(火)

□会場：沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1)

□主催：環境省、九州地方環境事務所、沖縄県、3R活動推進フォーラム

□参加者数：340名

□プログラム

【第1部】式典

- ・主催者挨拶 伊藤忠彦環境副大臣、富川盛武沖縄県副知事、細田衛士3R活動推進フォーラム会長
- ・来賓挨拶 ユッカ・シウコサーリ駐日フィンランド大使、新里米吉沖縄県議会議長
- ・表彰式 循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰（10企業、5団体、1個人）
3R促進ポスターコンクール表彰（最優秀賞 小学生3名、中学生1名）

【第2部】記念シンポジウム～循環型社会に向けての取組と島のリサイクル～

- ・基調講演「3Rの推進と循環型社会の国内外の動向」
講師：3R活動推進フォーラム会長（慶應義塾大学経済学部教授） 細田衛士氏
- ・成果報告「次世代へつなげよう3Rの輪 昨年度3R推進全国大会の成果」
発表者：徳島県県民環境部環境首都課係長 村田浩二氏
- ・事例発表「買い物ゲームの取組み」
発表者：沖縄リサイクル運動市民の会代表 古我知浩氏
- ・パネルディスカッション「考えよう！わたる島の3R」
(コーディネーター)
(NPO) 持続可能な社会をつくる元気ネット理事長・3R活動推進フォーラム副会長 崎田裕子氏
(パネリスト)
環境省環境再生・資源循環局総務課循環型社会推進室長 小笠原靖氏
株式会社バイオマス再資源化センター代表取締役 前堂正志氏
琉球セメント株式会社常務取締役 原島賢也氏
石垣市市民保健部長 前底正之氏
沖縄リサイクル運動市民の会代表 古我知浩氏
JICA沖縄所長 河崎充良氏
沖縄県環境部環境整備課長 松田了氏

(2) 関連イベント

①施設見学

大会当日の午前、施設見学が行われ、参加者は終了後大会に参加した。

□日時：平成29年10月24日（火）8：50～11：40

□参加者数：35名

□見学施設（大型バス1台）

・コース 株式会社拓琉金属浦添工場（沖縄県浦添市湊川495-9）

②3R推進展示コーナー

環境省、九州地方環境事務所、沖縄県、3R活動推進フォーラムの主催者による展示を始め、3R推進団体連絡会の8団体、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会、持続可能な社会をつくる元気ネット、地元企業による29団体の展示コーナーを設置し啓発活動を実施した。

2. 平成29年度3R促進ポスターコンクールの実施

環境省と共催で平成29年度3R促進ポスターコンクールを、以下のように実施した。

□募集期間 平成29年6月21日（水）～9月12日（火）

□応募数 小学生低学年の部（1～2年生） 832点
小学生中学年の部（3～4年生） 2,118点
小学生高学年の部（5～6年生） 2,698点
中学生の部 3,052点
合計 8,700点

□選考・第一次審査委員会 平成29年9月25日（月）（公財）廃棄物・3R研究財団会議室
・第二次審査委員会 平成29年9月28日（木）法曹会館 3階 富士の間

□入賞 各部門で最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作10点、4部門計56点を選定

□表彰 平成29年10月24日（火）開催の第12回3R推進全国大会式典で各部門最優秀賞4名を表彰した。その他の入賞者には賞状が送付された。

3. 循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰の推薦

環境省が実施する循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰に対して、3R活動推進フォーラムでは、平成18年度から循環型社会の形成について顕著な成果を上げている個人、企業又は団体について会員団体から推薦を受け、環境省へ推薦している。平成29年度は、企業3件を推薦し2件が入賞した。

表彰式は、第12回3R推進全国大会式典の席で行われ、全体で10企業、5団体、1個人が受賞した。

【3R活動推進フォーラム推薦の受賞者】

<企業> JX金属環境株式会社：日本鋁業協会

<企業> 有限会社日野環境：全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会

IV 連携・協働事業

1. セミナー等の開催

会員団体等との連携セミナー等を13回にわたって開催した。

（1）環境省3R推進地方セミナーにおける共催

①平成30年1月29日（月）13:00～16:00

□名称：循環・3Rセミナー ～3R推進とさらなるごみ減量を考える～

□主催：環境省、岩手県、3R活動推進フォーラム

□会場：いわて県民情報交流センター（アイーナ）

□参加者数：74名

□内容：

<第1部>

・基調講演「循環型社会に向けた3R施策について」

環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室長・循環型社会推進室長

小笠原靖氏

<第2部>事例発表

- ・事例発表1「横浜市におけるごみ減量政策」
横浜市資源循環局政策調整部政策調整課長 中坪学一氏
- ・事例発表2「名古屋市のごみ減量施策について」
名古屋市環境局ごみ減量部減量推進室主査 伊藤直起氏
- ・事例発表3「市町村と連携した3R普及啓発」
NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット事務局長 鬼沢良子氏
- ・事例発表4「セメント工場での循環型地域社会形成への取り組み」
太平洋セメント株式会社大船渡工場製造部長 家亀正行氏

②平成30年2月6日(火) 13:00～16:15

□名称：循環・3Rシンポジウム

みんなで考える食品ロス削減 ～食の都・大阪でおいしく食べきろう～

□主催：環境省、大阪府、3R活動推進フォーラム

□会場：梅田スカイビル タワーウエスト36F「スペース36L」

□参加者数：116名

□内容：

<第1部>

- ・基調講演1「循環型社会に向けた3R施策について」
環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室長・循環型社会推進室長 小笠原靖氏
- ・基調講演2「食品ロスと食品リサイクル」
神戸大学大学院経済学研究科教授 石川雅紀氏

<第2部>パネルディスカッション

(コーディネーター)

石川雅紀氏(神戸大学大学院経済学研究科教授)

(パネリスト)

小笠原靖氏(環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室長・
循環型社会推進室長)

斎藤 敬氏(日本チェーンストア協会関西支部)

加藤誠久氏(一般社団法人大阪外食産業協会)

樋口容子氏(公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント
・相談員協会西日本支部)

吉村光章氏(豊中市環境部減量計画課)

③平成30年2月15日(木) 13:00～16:30

□名称：循環・3Rシンポジウム ～食品ロスの道筋を考える～

□主催：環境省、(NPO)持続可能な社会をつくる元気ネット、3R活動推進フォーラム

□会場：KFCビル11F Room111

□参加者数：91名

□内容：

<第1部>

- ・基調講演「循環型社会に向けた3R施策について」

環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室・循環型社会推進室

室長補佐 高林祐也氏

<第2部>事例発表

- ・事例1「生ごみ減量化と食品ロス削減の取組」

株式会社戸田家取締役執行役員・業務支配人

宍倉秀明氏

- ・事例2「エコマーク『飲食店』認定基準の概要」

公益財団法人日本環境協会エコマーク事務局基準・認証課主任

本間隆之氏

- ・事例3「防災備蓄食品の活用について」

一般社団法人食品ロス・リボーンセンター代表理事

山田英夫氏

- ・事例4「マクドナルドの発生抑制の取組」

日本マクドナルド株式会社コーポレートリレーション本部CSR部

岩井正人氏

<第3部>パネルディスカッション

(コーディネーター)

崎田裕子氏((NPO)持続可能な社会をつくる元気ネット理事長・

3R活動推進フォーラム副会長)

(パネリスト)

高林祐也氏(環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室・

循環型社会推進室室長補佐)

宍倉秀明氏(株式会社戸田家)

本間隆之氏(公益財団法人日本環境協会)

山田英夫氏(一般社団法人食品ロス・リボーンセンター)

岩井正人氏(日本マクドナルド株式会社)

(2) 3R活動推進フォーラムの自主事業による共催

①平成29年6月18日(日)13:30~15:00

□名称：エコライフ・アクト大会

□主催：環境とやま県民会議、富山県、公益財団法人とやま環境財団

□共催：3R活動推進フォーラム

□会場：総曲輪グランドプラザ

□参加者数：200名

□内容：

- ・表彰式 富山県環境部門功労者表彰・環境月間ポスター表彰
- ・環境とやま県民会議活動方針報告
- ・こどもエコ活動事例発表(高岡市吉久ひなどり保育園)

- ・茂出木浩司トークショー（たいめいけん三代目オーナーシェフ）

②平成29年9月29日（金）13：10～16：40

□名称：平成29年度廃棄物・3R研究財団&3R活動推進フォーラム年次報告会

□主催：公益財団法人廃棄物・3R研究財団、3R活動推進フォーラム

□会場：江戸東京博物館会議室

□参加者数：82名

□内容：

- ・特別講演「廃棄物・リサイクル行政の動向」

環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課長

瀬川恵子氏

- ・調査研究等概要報告

「熊本地震における災害廃棄物対策について」

(公財) 廃棄物・3R研究財団 上席研究員

夏目吉行氏

「廃棄物分野における災害対応力向上のための人材育成」

国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター循環社会システム研究室

准特別研究員（前(公財)廃棄物・3R研究財団）

森 朋子氏

「海面最終処分場の廃止と跡地利用検討調査」

(公財) 廃棄物・3R研究財団 技術振興部長

東海林俊吉氏

「MBTシステムの日本におけるエネルギー回収に関する調査」

(公財) 廃棄物・3R研究財団 上席研究員

渡辺洋一氏

「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金について」

(公財) 廃棄物・3R研究財団 事業支援部技術担当部長

足立原敬一氏

「3R活動推進フォーラムの活動報告」

3R活動推進フォーラム 事務局長

藤波 博氏

- ・講演「世界の廃棄物処理の潮流」

(公財) 廃棄物・3R研究財団 理事長

田中 勝氏

③平成29年10月20日（金）14：00～16：00

□名称：平成29年度資源・リサイクルフォーラム

□主催：静岡県

□共催：静岡県環境衛生自治推進協会連合会、3R活動推進フォーラム

□会場：静岡市民文化会館「中ホール」

□参加者数：約400名

□内容：

- ・事例発表「ECOFF」リサイクルキャンペーンについて

松坂屋静岡店（静岡市）

- ・講演「家庭ごみに含まれる食品ロスと削減対策について」

京都大学大学院地球環境学堂准教授

浅利美鈴氏

- ・講演「小型家電リサイクルと2020年に向けた取組」

リネットジャパン株式会社取締役

中村俊夫氏

④平成30年2月2日（金）13：30～16：30

□名称：循環・3Rリレーセミナー ～循環型社会の現状と課題の解決に向けて～

□主催：リデュース・リユース・リサイクル推進協議会、3R活動推進フォーラム

□会場：アイビーホール2階「ミルトス」

□参加者数：92名

□内容：

<第1部>

・基調講演「循環経済（循環型社会）の道筋を展望する」

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長、

3R活動推進フォーラム会長（慶應義塾大学経済学部教授）

細田衛士氏

<第2部>話題提供

・話題提供1「食品ロスの削減に向けて」

農林水産省食料産業局バイオマス循環資源課食品産業環境対策室課長補佐

鈴木健太氏

・話題提供2「循環型社会に向けた3R施策について」

環境省環境再生・資源循環局総務課循環型社会推進室長・リサイクル推進室長

小笠原靖氏

・話題提供3「資源効率性・循環経済に関する動向」

経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課長

高角健志氏

<第3部>トピックス

・トピックス1「SDGsの推進による持続可能な生産・消費への変革」

株式会社エックス都市研究所サステナビリティ・デザイン事業本部主任研究員

永富 聡氏

・トピックス2「資源効率性・循環経済政策のわが国への影響」

公益財団法人地球環境戦略研究機関プログラムマネージャー

栗生木千佳氏

・トピックス3「横浜市における分別・リサイクルの取組」

横浜市資源循環局家庭系対策部業務課資源化係長

松島一志氏

⑤平成30年2月9日（金）13：30～16：30

□名称：ごみ減量自治体会議 in 東京

□主催：大阪ごみ減量推進会議

□共催：3R活動推進フォーラム、ごみ減量ネットワーク

□会場：公益財団法人廃棄物・3R研究財団会議室

□参加者数：23名

□内容：

廃棄物減量等推進員の活動活性化に向けた課題やその解決方法について、各団体間でどのような連携策が必要であるか等、意見交換を行った。

⑥平成30年2月23日（金） 13：30～16：30

□名称：ごみ減量自治体会議 in 大阪

□主催：大阪ごみ減量推進会議

□共催：3R活動推進フォーラム、ごみ減量ネットワーク

□会場：大阪産業大学 梅田サテライトキャンパス

□参加者数：27名

□内容：

廃棄物減量等推進員の活動活性化に向けた課題やその解決方法について、各団体間でどのような連携策が必要であるか等、意見交換を行った。

(3) 3R推進団体連絡会と共催

■名称：容器包装交流セミナー（札幌会場、鳥取会場）

～容器包装の3Rに関する市民・自治体・事業者との意見交換会～

■主催：3R推進団体連絡会、3R活動推進フォーラム

①平成29年7月27日（木） 13：00～16：45

□会場：北海道経済センター8階「Aホール」

□参加者数：38名

□内容：

<第1部>話題提供

・話題1「北海道における循環型社会をめざした取組」

北海道環境生活部環境局循環型社会推進課主査 福田茅乃氏

・話題2「さっぽろの生ごみの減量とリサイクル」

札幌市環境局環境事業部循環型社会推進課ごみ減量推進担当課長 浅山信乃氏

・話題3「容器包装の簡素化と3Rの推進について」

北海道容器包装の簡素化を進める連絡会世話人 石塚祐江氏

・話題4「活動のキーワード 情報・一緒に・つなぐ」

環境省環境カウンセラー 岡崎朱実氏

・話題5「容器包装の3R推進のための事業者の取り組みについて」

3R推進団体連絡会幹事 久保直紀氏

<第2部>グループ討論

・3つのワーキンググループによる意見交換

・全体総括（グループ報告、全体報告）

②平成29年11月29日（水） 13：00～16：45

□会場：とりぎん文化会館「第2会議室」

□参加者数：32名

□内容：

<第1部> 話題提供

- ・ 話題1 「鳥取県のごみの現状と削減の取組」
鳥取県生活環境部循環型社会推進課長 山根茂幸氏
- ・ 話題2 「鳥取市におけるごみ減量の取組について」
鳥取市環境下水道部生活環境課 井戸垣美柁氏
- ・ 話題3 「温暖化防止と3R推進」
環境省3R推進マイスター 山本ルリコ氏
- ・ 話題4 「容器包装の3R推進のための事業者の取組みについて」
3R推進団体連絡会幹事 久保直紀氏

<第2部> グループ討論

- ・ 2つのワーキンググループによる意見交換
- ・ 全体総括（グループ報告、全体報告）

■ 名称：容器包装交流エキスパートミーティング（仙台会場、大阪会場）
～容器包装の3Rに関する市民・自治体・事業者との意見交換会～

■ 主催：3R推進団体連絡会、3R活動推進フォーラム

① 平成29年9月1日（金） 13：00～16：45

□ 会場：ハーネル仙台「青葉」

□ 参加者数：27名

□ 内容：

<第1部> 特別講演

- ・ 「国内外の資源循環政策の動向」
環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室室長補佐 井上雄祐氏

<第2部> グループ討論

- ・ 意見交換
- ・ 全体総括

② 平成29年11月28日（火） 13：00～16：45

□ 会場：大阪科学技術センター「中ホール」

□ 参加者数：26名

□ 内容：

<第1部> 特別講演

- ・ 「国内外の資源循環政策の動向」
環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室室長補佐 井上雄祐氏
- ・ 「容器包装リサイクル制度について」
経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課課長補佐 山本恭太氏

＜第2部＞グループ討論

- ・意見交換
- ・全体総括

2. その他の後援・協賛等

(1) 後援

①実践活動としてのスチール缶を含む集団回収を通じて環境教育に取り組む小・中学校への支援事業

- ・主催：スチール缶リサイクル協会
- ・応募期間：平成29年6月1日(木)～平成29年10月31日(火)

②建設副産物リサイクル広報用ポスター

- ・実施主体：建設副産物リサイクル広報推進会議
- ・掲出期間：平成29年10月1日(日)～平成30年9月30日(日)

③2017建設リサイクル技術発表会・技術展示会

- ・主催：建設副産物リサイクル広報推進会議、北陸地方建設副産物対策連絡協議会
- ・開催期日：平成29年11月1日(水)～平成29年11月2日(木)

④第12回容器包装3R推進フォーラム in 日本橋

- ・主催：3R推進団体連絡会
- ・開催期日：平成29年10月4日(水)
- ・会場：東京都中央区日本橋「日本橋公会堂」

(2) 協賛

①平成29年度環境衛生週間

- ・主唱：環境省、都道府県及び市町村
- ・期間：平成29年9月24日(日)～10月1日(日)

②第16回「産業廃棄物と環境を考える全国大会」

- ・主催：(公社)全国産業廃棄物連合会、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター
(公財)産業廃棄物処理事業振興財団
- ・開催期日：平成29年11月17日(金)
- ・会場：三翠園(高知県高知市鷹匠町1-3-35)

(3) 協力

①平成29年度「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」

- ・実施主体：環境省、内閣府、総務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省他
関係省庁、都道府県、市町村等
- ・期間：平成29年5月30日(火)～6月5日(月)

②第10回3R・低炭素社会検定

- ・主催：3R・低炭素社会検定実行委員会
- ・試験日：平成29年11月12日(日)
- ・会場：東京会場(武蔵野大学有明キャンパス)

(4) 講師派遣

3R・低炭素社会検定講習会講師（3R・低炭素社会検定実行委員会主催）

①平成29年10月14日（土） 公益財団法人廃棄物・3R研究財団 会議室

②平成29年10月29日（日） 公益財団法人廃棄物・3R研究財団 会議室

(5) 散乱防止・美化キャンペーン（スチール缶リサイクル協会との連携事業）

①平成29年6月24日（土）

札幌市大通り公園で清掃活動（事務局は札幌市）を、地下鉄大通駅ショッピング街であき缶のポイ捨て防止・地域美化推進への協力をお願いする啓発活動を実施した。

②平成29年9月30日（土）

福井市内で清掃活動を、福井駅東口であき缶のポイ捨て防止・地域美化推進への協力をお願いする啓発活動を実施した。

V 広報普及活動

1. 展示会への出展

(1) (公社) 全国都市清掃会議春季評議委員会及び定時総会展示会場

開催日：平成29年5月17日（水）～5月18日（木）

会場：ホテルクレメント徳島 4階ロビー

(2) エコライフ・フェア2017

開催日：平成29年6月3日（土）～4日（日）

会場：都立代々木公園ケヤキ並木及びイベント広場

(3) おきなわアジェンダ21県民環境フェア in なご

開催日：平成29年10月8日（日）

会場：沖縄県名護市民会館前庭広場

(4) 第12回3R推進全国大会会場内展示コーナー

開催日：平成29年10月24日（火）

会場：沖縄コンベンションセンター会議棟A「エントランスホール」

2. 刊行物等の発行

(1) 年次報告書（2017年版）の作成

3R活動推進フォーラムの平成28年度の事業を中心に報告書を作成、ホームページに掲載し、会員、都道府県等関係先に案内した。

(2) 3R活動先進事例集2017の作成

平成29年度循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰受賞者の取組をまとめた3R先進活動事例集を作成し、都道府県、会員等に送付した。

(3) 容器包装交流セミナー報告書2017の作成

容器包装の3Rに関するエキスパートミーティング及び容器包装の3Rに関する市民、自治体、事業者との意見交換会のポイントをまとめ報告書を作成し、都道府県、

市町村、一部事務組合に送付した。

(4) その他

3 R 推進月間用ポスターの作成

平成28年度3 R 促進ポスターコンクール入賞作品を使用した2種類の3 R 推進月間用のポスターデータを作成し、希望者に提供した。

3. インターネットを活用した情報発信

(1) ホームページによる情報発信

ホームページに各種お知らせ、開催イベントの様態及び関連資料、発行済みの刊行物・メルマガ等を掲載した。

(2) メルマガ「3 R・廃棄物ニュース」の配信

関係省庁、都道府県、政令指定都市、会員団体等の情報を月3回配信した。

(3) 3 R 活動推進フォーラム事務局通信の配信

会員向けに事務局の業務報告などを事務局通信として年5回配信した。

4. 新聞・雑誌等における記事・広告掲載等

(1) 記事

① ウェイスト・マネジメント

平成29年10月15日 3 R 推進全国大会開催告知記事

② 環境新聞

平成29年10月18日 3 R 推進全国大会開催告知記事

③ 月刊廃棄物

平成29年10月号 3 R 推進全国大会開催告知記事

④ 沖縄タイムズ

平成29年10月25日 3 R 推進全国大会開催結果記事

⑤ 琉球新報

平成29年10月25日 3 R 推進全国大会開催結果記事

⑥ ウェイスト・マネジメント

平成29年11月5日 3 R 推進全国大会開催結果記事

⑦ 月刊廃棄物

平成29年12月号 3 R 推進全国大会開催結果記事

平成29年12月号 3 R 活動推進フォーラム連携セミナー等開催告知記事

(2) 広告

① ウェイスト・マネジメント

平成29年10月15日付第12回3 R 推進全国大会特集連名広告

② 環境新聞

- ・平成29年10月18日付3 R 推進月間特集号「3 R 推進全国大会広告掲載」
- ・平成30年1月1日付新年号名刺広告掲載

5. Rマーク表示の啓発・普及

Rマーク（再生紙使用マーク）について、環境省が策定した環境表示ガイドラインの表示方法等広報に努めた。

VI 会員サービスの充実

1. 会員との連携・協働事業の実施

自治体など会員団体とセミナー等を開催した。

2. 情報の発信・共有化

(1) 会員のイベント情報等をメルマガで配信

月3回配信しているメルマガ「3R・廃棄物ニュース」に会員のイベント情報等を掲載した。

(2) 3R活動推進フォーラム事務局通信の配信

事業の進捗状況や事務局の状況を会員に報告する事務局通信を配信した。

(3) ホームページの会員ページへの情報提供

①平成29年度廃棄物・3R研究財団&3R活動推進フォーラム年次報告会資料をホームページ上に掲載した。

②行政資料等会員向け情報を掲載した。

③セミナー等参加者アンケート結果を掲載した。

3. 年次報告会資料の会員無料化

平成29年9月29日（金）の公益財団法人廃棄物・3R研究財団との共催による年次報告会の資料については、会員は無料で、一般参加者は2,000円とした。

4. 協賛金

「第15回全国大学生環境活動コンテスト（エココン2017）」は、平成29年12月27日（水）、28日（木）にかけ国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、その事業活動に対する支援を行った。

5. 3Rグッズ等の配布

(1) 3R推進月間用ポスターデータの配布

平成28年度3R促進ポスターコンクール入賞作品を使用した3R推進月間用ポスター2種のデータを作成、10月の3R推進月間を中心に希望者に無料で提供した。

(2) クリアファイルの販売・配布

平成28年度3R促進ポスターコンクール最優秀作品をデザインしたクリアファイルを作成し、会員への販売や3R啓発用に展示会等での配布を行った。